

放射線画像情報システム研究会
代表世話人 池田 龍二

第30回放射線画像情報システム研究会



拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび「第30回放射線画像情報システム研究会」を、ハイブリッド形式（現地およびオンライン）にて開催する運びとなりました。

今回のテーマは、「備える：Be prepared！」です。医療現場は急速な変化と多様な課題に直面しています。

自然災害、経営危機、技術革新、今どう“備える”べきか。今回の研究会では、災害対策から経営改善、最新ガイドラインまで、現場で役立つ知見を共有します。さらに、記念すべき第30回大会として、情報交換会も併催。学びと交流を通じて、医療の未来を切り拓く一日となることを願っています。 敬具

— 記 —

日 時：令和8年2月21日（土）14時00分～17時15分（受付開始13時30分）

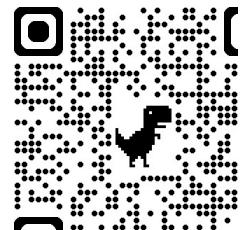
場 所：ハイブリッド開催 現地：福岡大学病院 臨床小講堂 + Web

参 加 費：500円

*研究会および情報交換会はパスマーケットより参加申し込みをお願いします。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02efighbcmu41.html>

参加 QR コード



テーマ「備える：Be prepared！」

プログラム

閉会あいさつ 放射線画像情報システム研究会をふりかえる

1. 講演 自然災害に備えよう

「熊本地震から10年を経て再考する医用画像BCP

一冗長性設計とクラウド PACS で備えるレジリエンス強化—

熊本大学病院 池田 龍二 代表世話人

2. 今あるもので備えよう 「医療情報学会報告（2演題）」若松重良

3. 情報提供 EIZO、()

4. 医用モニタハンズオンセミナー(新ガイドラインに備えよう)

「医用画像表示用ディスプレイ管理：新モニタと長時間使用モニタの利き較べ」EIZO 株式会社

5. 講演 経営危機に備えよう

「診療の”その先”にある価値を見出す

～診療放射線技師が取り組んだ最適化と改善の実践～

岡崎市民病院 医療技術局 放射線室総合研修センター兼務 阪野 寛之 氏

閉会あいさつ

医療情報技師、医用画像情報専門技師、医療画像情報精度管理士、各認定ポイント申請予定

放射線画像情報システム研究会 HP <http://rmiis.kenkyukai.jp/>

FB <http://www.facebook.com/rmiis2001>

世話人：柿本信二（かとうクリニック）、吉武貴康（株式会社トーカーワークス）、阿部一之（元・純真学園大学）、松原隆敏（熊本大学病院）、若松重良（鹿児島大学病院）、西村美幸（九州国際重粒子線がん治療センター）

主催：放射線画像情報システム研究会 後援：依頼予定

問い合わせ先：鹿児島大学病院 若松：wakamats@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp